

ご質問・V Eご提案・見積依頼など、どのような件でもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。

NETIS・特許取得 基礎工事のパイオニア



特殊基礎工事

第 62 号

新技術情報

平成 23 年 6 月

〒781-0014 高知県高知市薊野南町28番2号  
[URL] <http://www.ko-marutaka.co.jp>

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641  
[Email] [marutaka@ceres.ocn.ne.jp](mailto:marutaka@ceres.ocn.ne.jp)

## 大震災地 宮城県 女川町・松島湾で震災復旧工事に従事 水陸両用作業車 瓦礫・ガラ撤去状況

国難ともいふべき東日本大震災での巨大災害に見舞われ、犠牲となられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災地では、警察・自衛隊・消防の方々が昼夜を問わず不眠不休で不明者を捜索している中、水中の瓦礫の中にいるかもしれない不明者を、一日も早く協力支援する事が建設業の果たすべき役割であると考え、震災直後より現地に無い水陸両用車・技術者・オペレーターの提供協力を高知県建設業協会へ表明、5月9日に開催された震災支援フォーラムの為に来高された宮城県議会 畠山議長様より、堆積した瓦礫やカキ殻の撤去等に困っているという現状を聞き、工場内の水陸両用車を視察頂き、5月28日に宮城県より要請を受け、5月30日より女川町で船舶瓦礫撤去に着手。6月中は女川町で作業後、続いて松島湾、他に回る予定。



女川町での撤収作業状況(コンテナを撤収中)



女川町での撤収作業状況(船舶を撤収中)

水陸両用車は、水中・泥上・陸上で走行及び作業が可能なフロート式油圧バックホーを搭載。

アタッチメント（グラブバケット・油圧つかみ・破砕機・オーガー・バイブロ・各種杭打アタッチメント）を交換することで様々な用途に使用できる。

被災現場でトラブルを無くすため、試験検証  
高知県国分川にて



水陸両用車組立（クレーン25t以上）  
フロート組立状況



組立後  
陸上から水中へ走行



瓦礫撤去 作業状況  
重量3tまで可能



おわりに

日本の建設技術は世界で最強の業界だと信じている。

福島原発事故のタンクへの放水作業に使用された中国製コンクリートポンプ車での作業能力を見ても、ブーム長62m、放水量は2.8t/分の能力、日本で調達可能なウォータージェットは、1本当たり1.2t/分、10本合わせれば12t/分の放水ができ、日本製は5倍の能力がある。ブーム長さ70～100mのクレーンは関東でも数十台ある（弊社も保有あり）、にも関わらず要請が無いのが残念である。

又、南米チリの落盤による人命救助立孔掘削深度700mは当初4ヶ月かかると報道されていた。日本の岩盤削孔技術であれば2ヶ月で掘れると挑戦をしたが、アメリカのCenter Rock社は2ヶ月で完成させた。

日本の土木技術は、学識者のみでなく実績のある専門業者にも提案・挑戦できる機関が必要。  
日本の土木技術を全世界に知ってもらおう事も大切と思われる。